

保管用

施工説明付き

保証書別添付

取扱説明書

住宅用照明器具 (シーリングライト)

品番 HHFZ4390

もくじ

安全上のご注意	2
各部のなまえと付属部品	3
照明器具を取り付ける	4
照明器具を取り外す	5
ランプを交換する	5
あかりをつける・消す	6
リモコンの便利な使いかた	7
ご使用上に関するお知らせ	7
お手入れについて	裏表紙
故障かな?と思ったら	裏表紙
仕様	裏表紙
保証とアフターサービス	裏表紙

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 特に、ご使用前に「安全上のご注意」(2~3ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

工事店様へ

- この説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下記は図記号の一例です。)



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

警告

配線器具

- がたついたり、破損している配線器具(ローゼット・引掛シーリング)には取り付けない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。 がたつき・破損

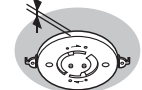
- 適正な状態にない配線器具には無理に取り付けない

落下によるけがのおそれがあります。

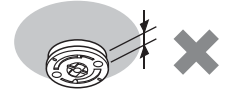
出しろの少ないもの



禁止

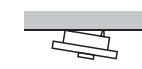


ローゼット10mm未満



引掛シーリング19mm未満

斜めに取り付けられたもの



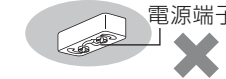
シーリングハンガーが取り付けられたもの



ケースウェイに取り付けられたもの



電源端子露出タイプ



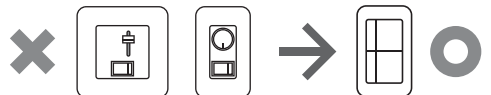
壁スイッチ

- 調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する

火災のおそれがあります。



必ず守る



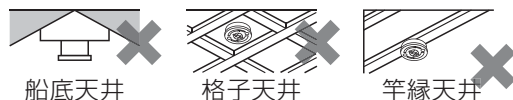
◎販売店、工事店に交換を依頼してください。(取り外しには資格が必要です。)

- 平面部が直径840mm未満の天井に取り付けない(例：上図)

必ず守る 落下によるけがのおそれがあります。

- 凹凸のある場所に取り付けない

落下によるけがのおそれがあります。



※アダプタ(別売：品番HK9042K)を使用した場合は、竿縁天井に取り付けできます。詳細はアダプタの取扱説明書をご参照ください。

- 傾斜した場所に取り付けない

火災、落下によるけがのおそれがあります。



◎この器具は水平天井面取り付け専用です。

その他

- 器具を改造したり、部品交換をしない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。



分解禁止



必ず守る

- 交流100ボルトで使用する

過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

- 異常を感じた場合、速やかに電源を切る
- 異常状態が収まったことを確認し、販売店またはお客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください。

⚠ 注意



必ず守る

- 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください

点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。

- ◎1年に1回は「安全チェックシート」(保証書内在中)に基づき、自主点検してください。

- 付属の梱包材は取り除いて使用する。そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

- カバーは確実に取り付ける。落下してけがのおそれがあります。



接触禁止

- 点灯中や消灯直後はランプやその周辺にさわらないやけどの原因となることがあります。

- ◎お手入れやランプ交換は電源を切り、ランプやその周辺が冷めてから行ってください。



水ぬれ禁止

- 浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない

火災、感電の原因となることがあります。

- ◎この器具は防湿、防雨型ではありません。



禁止

- 温度の高くなるものを器具の真下に置かない。火災の原因となることがあります。

- ◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

各部のなまえと付属部品

施工する前にまず付属部品をご確認ください

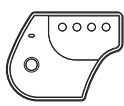
照明器具

本体取り付け用付属部品

アダプタ (1個)

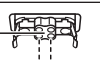
補修品番NZ2716M

リモコン受信器

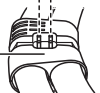


操作方法は、6・7ページ参照

ソケット



ランプ口金



カバー

(低誘虫UVカット仕様)

コネクタ

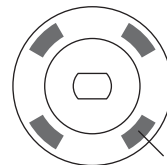
LED (常夜灯)

配線器具(付属していません。)

本体

(アース端子があります。)

※器具本体裏面に4ヶ所ついている黒スポンジは取らないでください。



黒スポンジ

ランプ支持バネ (2カ所)

※固定用テープをゆっくりとはがしてください。

ランプ

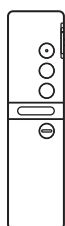
100形ツインパルック
プレミアム蛍光灯

交換方法は、5ページ「ランプ交換をする」参照

※ランプを動かすと音がある場合がありますが、異常ではありません。

リモコン付属部品

リモコン
HK9327K
(1個)

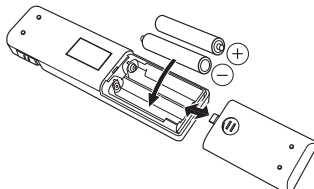


単3形
乾電池
(2本)



操作方法は、6・7ページ参照

- リモコンの裏ボタンを開けて、単3形乾電池を2本入れる。



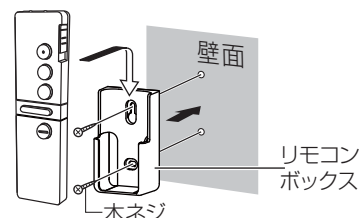
リモコン
ボックス
(1個)



リモコン
ボックス用
木ネジ (2本)



- リモコンボックスを使用して、紛失防止用に壁掛け収納できます。



壁面

木ネジ

リモコン
ボックス

照明器具を取り付ける

安全のため、電源を切ってから行ってください

1 天井についている配線器具を確認する

下記以外の配線器具の場合、
配線器具が設置されていない場合、
取り付けできません。

◎販売店、工事店に配線器具の取り替え、
取り付けをご依頼ください。
※工事には資格が必要です。

天井に下図のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。 **2**の作業へ進んでください。



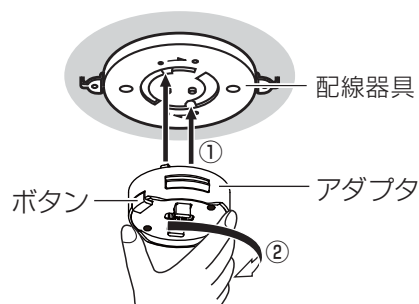
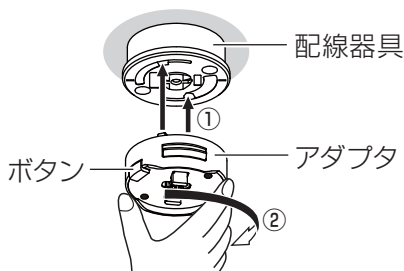
天井からの出しろが 22 mm の配線器具

天井からの出しろが 11 mm の配線器具

2 天井の配線器具にアダプタを取り付ける

①位置を合わせる

②アダプタを
右に回して
取り付ける

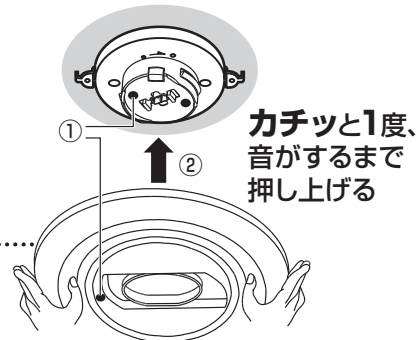
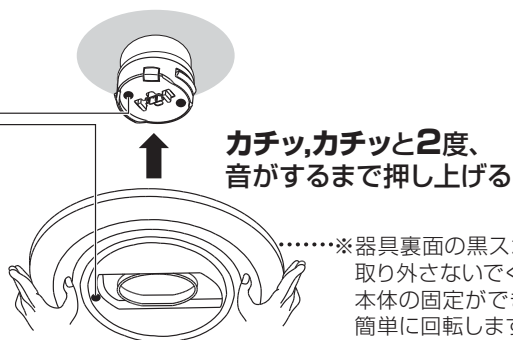


3 本体を押し上げて取り付ける

◎取り付けの際、ランプを持たないでください。

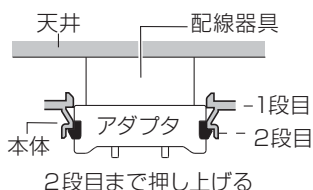
①印(黒丸)を
合わせる

②カチッと音が
するまで本体を
押し上げる

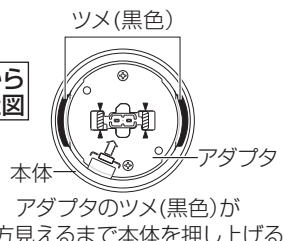


●アダプタの本体取り付け位置

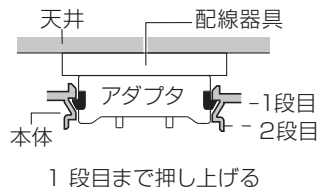
横から
見た図



下から
見た図

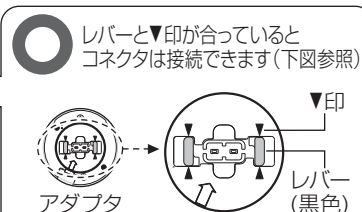
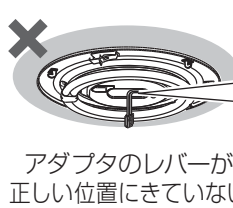
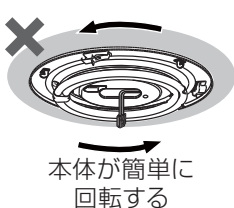
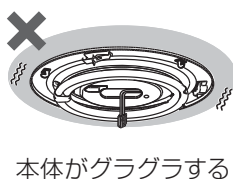


横から
見た図



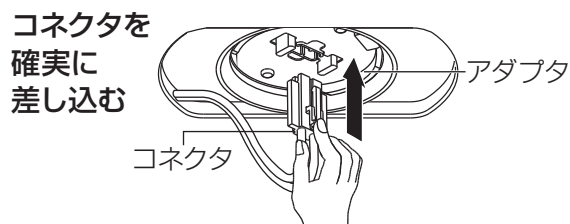
確認

本体が正しく
取り付けられ
ているか必ず
確認する。



上図の場合、正しく取り付けされていないので**3**を再度行ってください。

4 コネクタをアダプタに差し込む

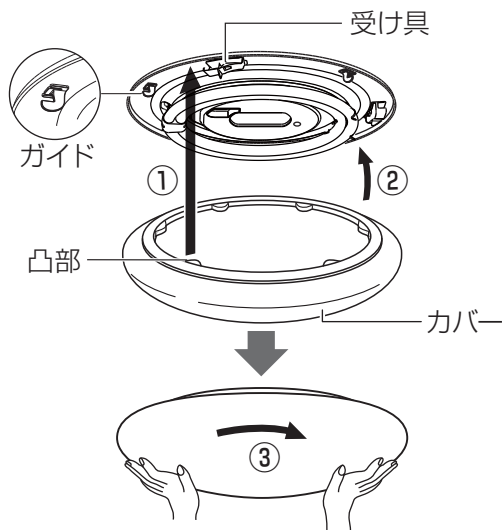


確認

- コネクタが差し込めない場合は
本体が正しく取り付けられていません。
→差し込めない場合は、前ページ**3**に戻る。
- 引っ張って、コネクタが抜けないことを確認する。

5 カバーを取り付ける

- ①カバーの凸部を本体の受け具とガイドの間に合わせる



- ②カバーを持ち上げる

- ③カバーを止まるまで右に回す

⚠ 注意



必ず守る

カバーは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。

確認

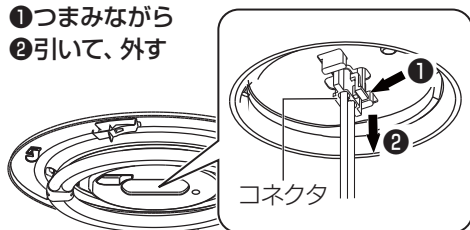
バランスを見て、カバーが水平に取り付けられていることを確認する。
→水平ではない場合は、カバーを左に回して外し、再度、**5**を行う。

照明器具を取り外す

安全のため、電源を切ってから行ってください

1 コネクタを外す

- ①つまみながら
②引いて、外す



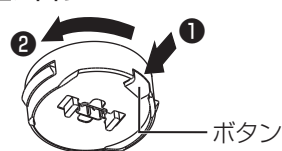
2 本体を外す

本体を支えながらレバーを
矢印の方向(左右)に広げる



3 アダプタを外す

- ①ボタンを押しながら
②左に回す



ランプを交換する

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

- ランプの明るさが低下したり、点滅をくり返したりするようになると寿命です。ランプを交換してください。

- パナソニック製ツインパルックプレミア蛍光灯をお買い求めください。種類が同じで光色の異なるランプも使用できます。

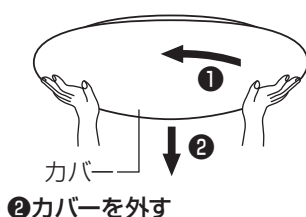
ランプの種類が表示されています



ランプの交換方法

①カバーを取り外す

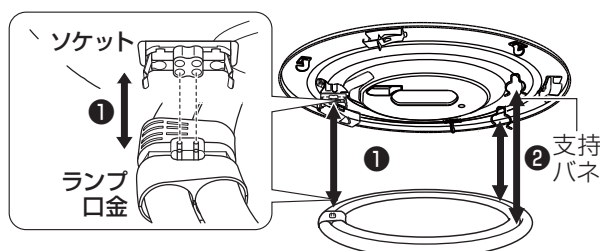
- ①カバーを止まるまで左に回す



②古いランプを取り外す

- ①ランプ口金側を外す

- ②支持バネ側を外す



③新しいランプを取り付ける

- ①ランプ口金を確実にソケットに差し込む
②支持バネで固定する

④カバーを取り付ける

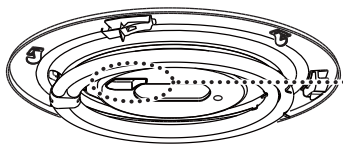
上記「照明器具を取り付ける」手順**5**参照

あかりをつける・消す

リモコンで照明器具を操作する

壁スイッチはONの状態にしてください。

リモコン受信器 (本体)



リモコン受信部

リモコンからの信号を受けます。
※傷つけたり、汚したりしないでください。

リセットスイッチ

動作が異常の場合の初期化などに使用
各種設定を出荷時の初期設定に戻せます。

音切入設定スイッチ

押すごとにリモコン操作時の音を切/入

チャンネル設定スイッチ

器具のチャンネルを設定する場合に使用

☞ 7ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照

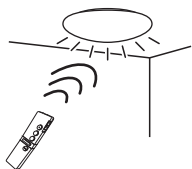
OFF/ONスイッチ

押すごとに消灯/全灯

リモコン

送信のしかた

必ず「リモコン送信部」
を器具に向けて操作
してください。



リモコン送信部

※傷つけたり、
汚したりしないで
ください。

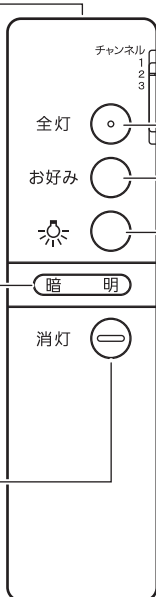
明暗ボタン

蛍光灯 (100～約10%)
LED (6段階) の明るさを
調整

☞ 7ページ

「蛍光灯、LED(常夜灯)
を調光し明るさを記憶
させる」参照

消灯ボタン



チャンネルスイッチ

操作する器具のチャンネル (1～3) を設定

☞ 7ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照

全灯ボタン

蛍光灯が100%の明るさで点灯

☞ 7ページ「全灯ボタンを押したときの明るさを変更する」参照

お好みの明るさボタン

蛍光灯が明暗ボタンで変更した明るさで点灯
(初期設定: 約60%の明るさ)

※明暗ボタンで100%に変更した場合は全灯と
同じ明るさで点灯します

LED(常夜灯)ボタン

LEDが明暗ボタンで変更した明るさで点灯
(初期設定: 100%の明るさ)

◎太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。

付属のリモコンの他に、下記のリモコンで
操作ができます。



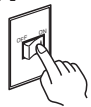
HK9470

- タイマー機能
- 蛍光灯、LEDの明るさを変更可能
- 蛍光灯、LEDをダイレクトに
切り替え可能
- LED手元灯付き

壁スイッチで照明器具を操作する

点灯・消灯する

壁スイッチ
ON



点灯



壁スイッチ
OFF



消灯



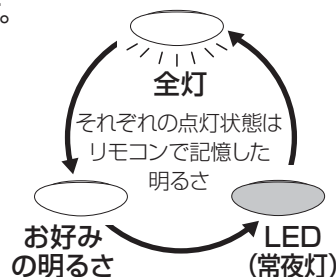
記憶している
前回の「消灯前の明るさ」で
点灯します

今回の「消灯前の明るさ」を
記憶して消灯します

- 全灯ボタンで点灯後、「明暗ボタン」で明るさを調節した状態は
記憶されません。

点灯状態を切り替える

壁スイッチを素早く(約2秒以内) OFF→ONすると
点灯状態が切り替わります。



- 壁スイッチ 1 個で2台以上の照明器具を使用しないでください。
点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。

リモコンの便利な使いかた

複数のリモコン照明器具を操作する

照明器具のチャンネルを変更できます

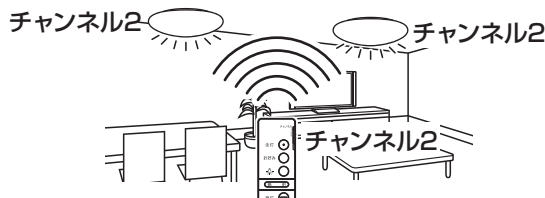
リモコンのチャンネルを切り替えると、1台のリモコンで複数の器具が操作できます。
また、リモコンで器具を操作できない時は、チャンネル設定が正しくない場合があります。

チャンネル設定でできること

- 複数の器具を同時に点灯できます。

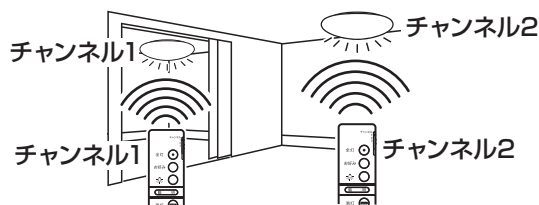
※器具間の距離やリモコン操作の方向により、同時に点灯しないことがあります。

(例) 一部屋に2台のリモコン照明器具がある場合



- 近くの器具を別々に点灯できます。

(例) 隣室にもリモコン照明器具がある場合



- ① **チャンネル設定スイッチ** リモコン受信器(本体)の「チャンネル設定スイッチ」を押す
→「ピッ」と音がする
- ② **チャンネル** リモコンの「チャンネルスイッチ」を希望のチャンネルに合わせる
(例:チャンネル1)
- ③ **全灯** リモコンのいずれかのボタンを押す
→「ピピーッ」と音がして設定完了

蛍光灯、LED (常夜灯) を調光し明るさを記憶させる

- | 蛍光灯 | | LED (常夜灯) | |
|----------------------|-------|-------------------------------------|-------|
| ① お好み | ② 暗 明 | ① | ② 暗 明 |
| リモコンの「お好みの明るさボタン」を押す | | リモコンの「明暗ボタン」で蛍光灯の明るさを調節する→記憶 | |
| | | リモコンの「LED (常夜灯) ボタン」を押す | |
| | | リモコンの「明暗ボタン」でLED (常夜灯) の明るさを調節する→記憶 | |

- メモ ●再び上記の操作を行うまでは、記憶した明るさで点灯します。
●「全灯ボタン」で点灯させた後に「明暗ボタン」で明るさを調節しても記憶されません。

全灯ボタンを押したときの明るさを変更する

全灯ボタンを押したときの蛍光灯の明るさを100～約10%の範囲で設定することができます。

- ① **全灯** リモコンの「全灯ボタン」を押す
- ② **OFF/ONスイッチ** リモコン受信器(本体)の「OFF/ONスイッチ」を「ピッ」と音がするまで押し続ける
- ③ **暗 明** リモコンの「明暗ボタン」で蛍光灯の明るさを調節する
- ④ **全灯** リモコンの「全灯ボタン」を押す
→「ピピーッ」と音がして変更完了

ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません

【器具自体の留意点】

- 点灯中や消灯直後、プラスチック伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- 周囲の温度が低いと、蛍光灯が明るくなるまで時間がかかったり、温まるまでちらつくことがあります。
また、点灯直後のリモコン動作が悪い場合があります。
- 非常に短い停電があると点灯状態が変わる場合があります。
- 低誘虫(虫がよってこない)機能は、蚊、ゴキブリなど、光に誘われない虫には効果がありません。
また周囲の光環境によっても効果に差が生じます。

【周囲の影響】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- 器具のきわめて近くでは、リモコン機器(エアコンなど)のリモコンが動作しにくくなる場合があります。

お手入れについて

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に清掃してください。
 - 汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
 - リモコンのリモコン送信部は定期的にお手入れを行ってください。ほこりなどにより汚れるとリモコンが効きにくくなります。
 - 電池は半年を目安に取り替えてください。
- ※付属の乾電池は、最初を使用するために用意しているもので、半年に満たないうちに消耗する場合があります。

確認

シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

故障かな?と思ったら

下表に従って点検してください

現象	考えられる原因	処置	参照ページ
点灯しない	コネクタが確実に差し込まれていない	①コネクタを一度抜き、…………… ②本体を押し上げてから…………… ③コネクタを再度、差し込む……………	⑤ 5ページ ① ⑤ 4ページ ③ ⑤ 5ページ ④
	ランプ口金がソケットから外れている	ランプ口金をソケットに差し込む	⑤ 5ページ
	ランプが切れている	ランプを交換する	⑤ 「ランプを交換する」
	壁スイッチがOFFになっている または、リモコンで消灯にして 壁スイッチをOFFにしていた	壁スイッチをONにする、または、 壁スイッチを素早くOFF→ONにする	⑥ 6ページ ⑤ 「壁スイッチで照明器具を操作する」
リモコンで 操作できない	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する	⑤ 3ページ
	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れる	⑤ 「各部のなまえと付属部品」
	リモコンと照明器具のチャンネルが合っていない	リモコンのチャンネルスイッチを 変更して操作する	⑤ 7ページ ⑤ 「複数のリモコン照明器具を操作する」

上記の処置を行っても 現象が続く場合

- ①電源をいったん切り再度入れる
- ②器具内スイッチのリセットスイッチを押す
- ③器具のチャンネルを変更する ⑤ 7ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照

- 上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください。

仕様

付属ランプの品名は、ランプに表示しています。ご確認ください。

使用電圧	周波数	消費電力	付属ランプ	
AC100 V	50/60 Hz共用	84 W (リモコンOFF時1 W以下)	100形ツインパルックプレミア蛍光灯	クール色

保証とアフターサービス

よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、「修理ご相談センター」へ!
- その他は、「お客様ご相談センター」へ!
(連絡先は保証書内在中)

■保証書(別添付)

保証書は、必ず「販売店名、購入日」などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのと、保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
但し、安定器については3年間です。(ランプなどの消耗品は除きます。)
※保証の例外 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

■補修用性能部品の保有期間 6年

この照明器具の補修用性能部品(電気部品)を製造打ち切り後最低6年間保有しています。
注) 補修用性能部品とは、機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

ご連絡いただきたい内容

①製品名 ②品番 ③お買い上げ日 ④異常の状況(できるだけ具体的に)

- 保証期間中は、お買い上げ日を特定いただき、お買い上げの販売店までご持参ください。販売店が修理させていただきます。

- 保証期間を過ぎているときは、修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。

- 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用です。
部品代	修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料	ご依頼により技術者を派遣する費用です。

パナソニック電気株式会社 インテリア照明事業部

〒571-8686 大阪府門真市門真1048

© Panasonic Electric Works Co., Ltd. 2010

HHFZ4390-T3A1

N0310-010910